

受講料
無料

冬の創作 ワークショップ全2回

対象：県内の障がい福祉サービス事業所の職員や教職員など、
障がいのある人の創作活動に関わる方

定員：各回25名

第1回 わくわく・こねこね・ネンド造形

2月4日◎ 13:00~15:00

講師：中野マーク周作(陶器造形作家)

中野伸哉(陶芸家・イラストレーター)

会場：大分県立美術館 2階 研修室
(大分市寿町2-1)

内容：土ねんど風の「Kクレイテラコッタ」
はやわらかくてきめが細かく、細
かい造形に適した素材です。乾燥
後は硬くなり、素焼きの陶器のよ
うな仕上がりになります。2色の
粘土を使って思い思いに形をつ
くってみましょう。

申込締切：1月31日◎



第2回 送る相手を想いながら絵手紙を描こう



2月25日◎ 13:00~15:00

講師：原野彰子(絵手紙作家)

会場：大分県総合社会福祉会館
4階 大ホール(大分市大津町2丁目1-41)

内容：身近なものをモチーフに描き、言葉
を添える「絵手紙」。講師が用意した
季節の素材を手にとって、送る相手
を想像しながら、のびのびと絵筆を
進めてみましょう。

申込締切：2月21日◎

作品発表やアートワークショップなどで活躍する県内在住のアーティストを講師に、参加者が創作活動を体験するワークショップです。実際に手を動かして描いたり作ったりすることで、表現することの面白さを楽しんだり、工夫することの難しさを体感します。福祉施設や学校でのワークショップ事例を聞く時間や質疑応答も設け、障がいのある人の創作活動のサポートのあり方について考えます。

講師プロフィール

中野 マーク 周作 (なかの まーく しゅうさく)

オーストラリア・シドニー生まれ、国東市在住。「陶器・ガラス工房 ラ・パロマ」で陶芸の仕事に携わる。ルーティンワークや集中力の高さといった自閉症の特性を活かし、カップや鬼、恐竜、怪獣など空想の生き物たちをはじめ、猿、サイ、キリンなどの動物たちを、個性豊かに表現。想像力あふれる作品は観る人を釘付けにする。

中野 伸哉 (なかの しんや)

福岡県生まれ、国東市在住。中野マーク周作の父。「陶器・ガラス工房 ラ・パロマ」を拠点に福祉施設でのアート活動講師、イラストレーション、農産物や観光業のプロデュースなどを行う。国東市障がい者芸術文化参画推進事業ワークショップ講師、宇佐市6次産業創造推進協議会アドバイザー、宇佐市両合棚田再生協議会アドバイザー、大分市6次産業セミナー講師などを歴任。

原野 彰子 (はらの あきこ)

中津市生まれ、別府市在住。絵手紙講師・ピアカウンセラー。生まれつきの身体まひにより車いすユーザー。20代で自動車免許をとり、車を運転して県内どこへでも訪問する。絵手紙教室は学校、福祉施設、公共施設などから依頼を受けて様々な地域へ赴く。中には20年以上にわたって継続している教室もある。2023年11月に「第37回大分合同新聞福祉賞」を受賞。

申込み方法: 申込書に記入の上、メールまたはFAXでお送りください。

送信先 >>> おおいた障がい者芸術文化支援センター

FAX: 097-533-4013 メール: artbrut-oita@emo.or.jp

※お申込み拝受後、平日3日以内に受付完了メールをお送りします。(メールアドレスが無い場合はお電話にてご連絡します。)

申 込 書

* 印は必ずご記入ください

* 参加希望日	<input type="checkbox"/> 2月4日 (日) の回	<input type="checkbox"/> 2月25日 (日) の回	(両方参加可)
* 氏 名	フリガナ		
* 住 所	〒		
* 連 絡 先	電話番号:	E-mail:	
職場・役職			
申込動機			
障がいの有無	あり ・ なし	「あり」の場合、具体的に教えてください。	

今後おおいた障がい者芸術文化支援センターのイベント情報をお届けして良いですか?

該当する箇所に印をつけてください。(複数可)

- 住所にチラシを届けて欲しい。
- メールアドレスにお知らせを届けて欲しい。
- イベント情報を受け取らない。

お問合せ先

おおいた障がい者芸術文化支援センター
 [公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団]
 TEL097-533-4505(平日9:00~17:00) FAX 097-533-4013
 E-mail artbrut-oita@emo.or.jp

**五感の翼を
 広げよう**



WEBサイト